

名古屋・福岡
広島で開催

医療介護大改革、 地域包括ケアの未来戦略

～ICT・AI活用による遠隔健康管理や省力化～

高齢者がピークを迎える2025年に向けて、医療機関、介護事業者とも大きな改革が迫られている。特に介護事業者にとっては、自立支援のアウトカム評価や医療連携、更に科学的介護が求められることとなり、生産性の向上や健康管理体制が不可欠。今回のセミナーでは、医療介護報酬改定に精通している今瀬俊彦氏(今瀬ヘルスケアコンサルティング所長)と遠隔医療で厚生労働科学研究・研究代表者の前田俊輔氏(芙蓉グループ代表)に地域包括ケアの未来戦略を描いてもらう。

特別セミナー
介護事業者必見!

講演内容 各セミナー会場共通

第一部
14:00▶15:00

地域包括ケアと医介連携のあり方

～診療報酬・介護報酬同時改定、重要事項解説～

今瀬俊彦氏 今瀬ヘルスケアコンサルティング所長

- ・医療・介護サービスの提供体制
- ・在宅医療と多職種連携
- ・地域医療計画と地域包括ケアはコインの表裏
- ・今回の介護報酬改定は猶予期間
- ・高齢者施設のとるべき方向性 ほか

いませ・としひこ
1979年厚生省医務局入省。同省退任後、89年医療法人三喜会 法人本部 経営企画室長に就任。有料老人ホーム、老健施設など18施設を開設。2000年関西電力(株)グループ経営推進室エグゼクティブアドバイザー。02年東京電力(株)事業開発部プロジェクト課長。05年(株)今瀬ヘルスケアコンサルティングを設立し代表取締役所長に就任。11年度よりJA全中 高齢者福祉ネットワークスーパーバイザー。東北から沖縄まで、全国の病院新築や高齢者住宅開設等の新規事業を支援している。



第二部
15:00▶16:00

介護、在宅医療へのICT活用への評価と 介護施設での遠隔健康管理の実態

～状態悪化を早期発見、重症化予防へ～

前田俊輔氏 医療法人芙蓉会代表、一般社団法人日本遠隔医療介護協会理事長

- ・介護・診療報酬の動向
- ・2018年の同時改正の影響とICT
- ・在宅医療のリスク急増と対策
- ・介護施設でのICT活用の実態(健康管理と省力化)

まえだ・しゅんすけ
医療法人芙蓉会(福岡県大野城市)代表・理事。芙蓉グループ(医療機器開発・高齢者住宅など)代表。(社)JTCC(日本遠隔医療介護協会)理事長。長崎大学院歯学総合研究科・研究員。厚労省 平成29年度厚生労働科学研究・研究代表者、及び診療報酬分野研究員。厚労省 保健医療分野におけるICT活用推進懇談会・参考人。内閣官房 アジア健康構想推進会議・委員。国交省 次世代住宅懇談会・委員



■会場(下記にチェックを入れてください)

- 名古屋 5月17日(※) TKP名駅東口カンファレンスセンター
(名古屋市中村区名駅3-26-8 KDX名古屋駅前ビル13F)
- 福岡 6月8日(金) TKPガーデンシティ博多
(福岡市博多区博多駅前3-4-8 サットンホテル博多シティ内5F)
- 広島 8月2日(※) TKPガーデンシティ広島
(広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ)

■時間/14:00~16:00(開場13:30、各会場共通)

■参加費/無料

■定員60名※定員になり次第締め切らせていただきます

申込先

メール info@koureisha-jutaku.com

FAX 03-3543-6853 (特別セミナー係宛)

申込記入欄 下記にご記入頂き、上記のメールかFAXでお送り下さい

貴社名			ご参加人数	人
ご参加者氏名①	部署名	ご住所 〒		
ご参加者氏名②	部署名			
TEL	FAX	メールアドレス		

■主催/(株)高齢者住宅新聞社 東京都中央区銀座8-12-15 TEL.03-3543-6852 FAX.03-3543-6853

■共催/芙蓉グループ(医療法人芙蓉会・芙蓉開発株式会社)